

類別：器具機械 (18) 血圧検査又は脈波検査用器具  
 一般的名称：電子非観血血圧計  
**エー・アンド・デイ デジタル血圧計 UB-304**

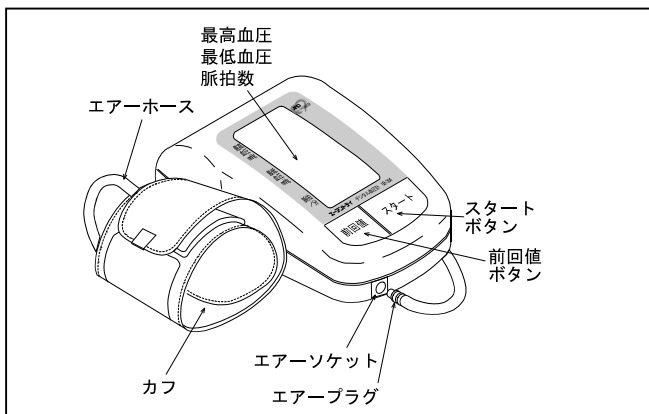
**【禁忌・禁止】**

(血圧計を適正にご使用頂くための注意事項です。)

- ・ 手首に重度の血行障害のある人は必ず医師と相談のうえ使用してください。体調不良をおこすおそれがあります。
- ・ 測定結果の自己判断、治療はしないでください。医師の指示にしたがってください。
- ・ 傷など未治癒の手首にカフを巻かないでください。
- ・ 点滴や輸血を行っている手首にカフを巻かないでください。怪我や事故をおこすおそれがあります。
- ・ 病院内の麻酔ガスなど可燃性ガスの近くで使用しないでください。引火の可能性があります。
- ・ 病院内の高圧酸素室や酸素テント内など高濃度酸素下では使用しないでください。発火の可能性があります。

**【組成・性状・構造等】**

各部の名前



**標準付属品**

取扱説明書	1冊
単3形乾電池	2個
ソフトケース	1個

**【性能、使用目的、効果、効能】**

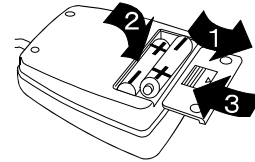
本機は、オシロメトリック方式を用いた手首血圧計です。血圧及び脈拍数を測定することができます。

電源	: DC3V (単3形乾電池2個)
表示方式	: デジタル表示方式
測定方式	: オシロメトリック方式
測定範囲	: 圧力 0~280mmHg
	: 脈拍 40~200拍/分
精度	: 圧力 ±4mmHg 以内
	: 脈拍 読み取り数値の±5%以内
メモリー機能	: 1回分の測定値を記憶
使用温湿度	: +10~+40℃、30~85%RH
保存温湿度	: -10~+60℃、30~95%RH
測定可能な手首周長	: 約13.5~19.5cm
質量	: 約200g (乾電池除く)
寸法	: 幅85×高さ48×奥110mm
電撃保護	: 内部電源機器B形

**【操作方法又は使用方法等】**

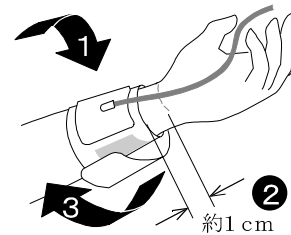
**(1) 電池の入れ方**

1. 電池ボタンを押しながらスライドさせて開けます。
2. 新しい乾電池2個を+の表示にあわせ入れてください。
3. 電池ボタンをもとのように、はめ込みます。



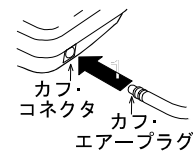
**(2) カフの巻き方**

1. 左手の手のひらにカフのエアホースがくるようカフを着けてください。
2. カフを手首のすじから約1cm離してください。
3. カフをピッタリ手首に巻いてください。

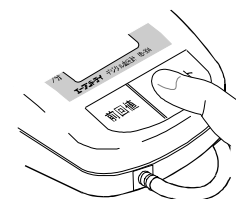
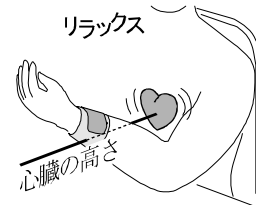


**(3) 血圧測定方法**

1. カフのエアプラグを本体のカフ・コネクタにしっかり差し込んでください。



2. 正しい姿勢で座り、カフを心臓の高さと同じにし、リラックスしてスタートボタンを押してください。

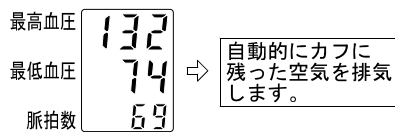


**取扱説明書を必ず参照ください。**

3. 自動的に加圧開始し、測定します。加圧が自動に止まり、自動排気により圧力が徐々に下がりはじめ、マークが点灯し測定を開始します。脈を検出するとマーク脈と合わせて点滅します。



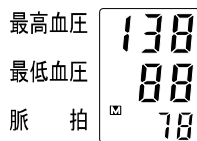
4. 測定が終了すると、最高血圧、最低血圧、脈拍数を同時に表示します。測定終了後は自動的にカフに残った空気を排気します。



5. 電源を切るときは、スタートボタンを再度押してください。

#### (4)メモリーデータの呼び出し方

前回値スイッチを押すと前回測定した最高血圧、最低血圧、脈拍数を表示します。



#### 【使用上の注意】

- 正確な値を測定するために  
背筋を伸ばして姿勢よく座ってください。  
カフの高さが心臓の高さと同じになるようにしてください。  
リラックスして安静にしてください。  
身体を動かしたり、おしゃべりをしないでください。  
運動や入浴後は数十分してから測定してください。
- カフの巻き方の注意  
ピッタリ巻かないと測定できない場合があります。  
衣類の上から巻くと測定誤差の原因になります。
- 途中で測定を中止したい場合  
もう一度スタートボタンを押すと止まります。
- 本機は万が一電源を切り忘れても約 3 分後自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能を備えております。
- 表示部に電池不足マークが点灯した場合は、乾電池を 2 個同時に新しいものとお取替えてください。

#### 【作動・動作原理】

カフ圧力を最高血圧以上に加圧後、徐々に減圧すると、カフ内圧力に心拍に同期した脈動現象が現れます。この脈動の出始めは小さく、減圧に従い大きくなり、やがて最大振幅を示した後、再び小さくなる山型のパターンになります。オシロメトリック方式の血圧計は、この脈動分の振幅波形情報をマイクロコンピュータで解析して最高血圧及び最低血圧を決定しています。

#### 【取扱い上の注意】

- 直射日光が長時間当たる場所では使用しないでください。
- ほこり、塩分、イオン分などを含んだ空気のない場所でご使用ください。
- 傾斜、振動、衝撃などのない場所でご使用ください。
- 携帯電話など電磁波を発生する機器を近づけないでください。誤動作する可能性があります。
- 血圧測定以外の目的以外には、使用しないでください。分解や修理・改造を行わないでください。発火したり、故障や事故をおこすおそれがあります。
- 他の医療用具や器具と接続しないでください。事故のおそれがあります。

#### 【保守・点検に係る事項】

- しばらく使用しなかったときには、使用前に必ず動作すること（電源が入る、加圧するなど）を確認してからご使用ください。
- 汚れていたり濡れていないかを確認してください。汚れはぬるま湯か石けん水を含ませた布で拭いてください。シンナー、ベンジン等の溶剤を使用しないでください。

#### 【製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造業者名：株式会社エー・アンド・デイ  
住 所：東京都豊島区東池袋 3-23-14  
お問い合わせ先：  
株式会社エー・アンド・デイ 鴻巣工場 FE 部  
住所：〒365-0027 埼玉県鴻巣市上谷 1771  
電話：0120-514-016